

## 飴細工 川西 銀次



### 百聞は一見にしかず

縁日でもなかなかお目にかかれない江戸郷愁の瞬間芸。  
無造作に取り出した一つまみの飴が何に変身するのか子供から大人までワクワク気分。  
動物や鳥を始めとし、キャラクターも取り入れ自由自在に変身させどこへ行っても大人気。  
遊び心いっぱいの楽しさ、独自に色合いの技法も考案。細工物を一段引き上げるなど常に  
探究心を持ち、出会いと夢を探し全国旅から旅へと楽しいひとときの時間を共有できる喜  
びを大切に、まだ一度も見たことのない人の笑顔を求めて飛び回っています。

### プロフィール

幼少の頃に縁日で見かけた大道芸がずっと心に残って大人に成長した。  
大人になっても縁日やイベントに大道芸人の残像を求め、祭り、イベント好きになり飛  
び回る中で、28歳頃丸亀銀次郎師と出会い師の志を受けつぎ31歳にて弟子入りし  
高市修行を始め、3年後、銀次郎師引退を機に銀次名をもらい細工師としての技の向  
上を目指し、と同時に高市を離れ独立する。